

文部科学省指定 福島県教育委員会委託 「人権教育開発事業」  
**広野町人権教育研究発表会（広野小学校）**



↑学級活動において「こども園と交流を深めるにはどうすればよいか」について意見を出し合う5年生



↑道徳科の授業において「みんなが笑顔になるために…」互いの気持ちを考える2年生

広野町では、福島県教育委員会より人権教育開発事業の委託を受け、広野こども園、広野小学校、広野中学校の三校園が連携し、家庭・地域が一体となって「互いのよさを尊重し、新たな価値観を創り上げる子どもの育成」を目指した人権教育の推進に取り組んでいます。

本研究発表会では、県教育委員会より指導助言者をお招きし、広野小学校の第二学年一組、第四学年、第五学年一組において授業公開を行いました。

また、教育講演会講師として、國學院大学教授 杉田洋先生(前文部科学省初等中等教育局視学官)をお招きし、演題「人権(感覚を鍛える教師力・学校力)授業や生活づくりを通して」についてご講演いただきました。

参会された教育関係者や保護者からは「子ども同士が互いの意見を認め合う姿に感心した」「再度子どもとの向き合い方を見つめ直したい」「教員としての責任を改めて考えることができた」のような意見や感想などがありました。

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、心ない人権差別が顕在化してきたことから、子ども・教師・地域住民が「互いの存在を肯定し、互いの価値観を尊重し合う」学校・地域づくりを目指し、令和3年度まで本事業を継続する予定です。



算数科の授業において先生から提示されたカードに注目し、四角形の「仲間分け」に意欲を高める4年生

**たわわに実る  
広野みかん大収穫**



今年も、町内でみかんがたわわに実りました。

12月4日(金)、みかんの丘で、広野こども園児によるみかん狩りを行いました。青空の下でみかんを一生懸命に収穫し、もぎ取ったばかりのみかんを口にすると「甘くておいしい」と歓声を上げていました。

12月7日(月)、みかんの丘で、児童館の児童によるみかん狩りを行いました。大きなみかんを探して、みかんの丘の下から上まで走り回って探検していました。

12月9日(水)、高倉山で直売所組合員とふたば未来学園の生徒と一緒にみかん狩りを行いました。みかんが山積みになるほど収穫できたことで、参加者には笑顔があふれていました。収穫されたみかんは、みかんジュースなどのお土産品として販売予定です。

12月15日(火)、みかんの丘で町民参加のみかん狩りを行いました。70人が参加し、大きく甘く育ったみかんを、持参した袋がいっぱいになるほど収穫して楽しみました。



- 1 上手に皮がむけて楽しい園児
- 2 たくさんあってどれを取るか悩む園児
- 3 たわわに実ったみかん
- 4 みかんの丘の風景
- 5 みかん狩りを楽しむ町民
- 6 ケース一杯のみかんを積む学生
- 7 大きなみかんを見つけた児童
- 8 収穫体験をする学生
- 9 高い位置のみかんに手を伸ばす園児
- 10 お気に入りのみかんを持つ児童
- 11 みかんを食べて笑顔の園児

**議会の録画映像を配信しています！**

インターネットで議会の録画映像を配信しています。  
 パソコンやスマートフォンなどでご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



URL: <http://hirono.k-quick.net/>



**横断歩道を渡ろうとする人を見かけたら必ず一時停止しましょう**

横断歩行者妨害違反は3か月以下の懲役または5万円以下の罰金

**マナーじゃなくてルールです**



「横断歩道は歩行者優先」  
 CM映像はこちら

